

「四国版くしの歯作戦」の広域合同演習を実施 太平洋沿岸の津波浸水想定エリアの 道路啓開・復旧オペレーション演習は初めて

東日本大震災では国、県、市などの道路管理者と自衛隊や地元の建設業者等が連携した道路啓開活動「くしの歯作戦」により、早期に交通ネットワークを確保し、その後の迅速かつ的確な応急対応に繋がりました。四国地方においても同様に巨大地震に備えるため緊急輸送道路の早期啓開・復旧体制について関係機関と検討を行っているところです。

今回の演習は、南海トラフの巨大地震等による広域大規模災害時における初動3日間に焦点を置いて太平洋沿岸の浸水想定地域の「道路啓開・復旧オペレーション（四国版くしの歯作戦）」について、道路啓開実施機関が集まった初めての演習を行います。

各関係機関が「被害想定イメージ」、「各機関の連絡体制・手段」を共有・再認識し、連携していくうえで「救援、救護のための道路啓開をどのように進めていくのか」、「浸水想定されている太平洋沿岸の道路啓開をどのように進めるのか」といったことを災害図上演習（DIG形式）を通して互いに議論し、課題を抽出します。

◎日 時：平成25年 3月13日（水）13：30～16：30

◎場 所：国土交通省四国地方整備局13F 災害対策室
（高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎13階）

◎参加機関：四国地方整備局、陸上自衛隊 第14旅団、
徳島県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県警、香川県警、愛媛県警、高知県警、
西日本高速道路（株）四国支社、本州四国連絡高速道路（株）、維持業者
オブザーバ参加＜海上保安庁、四国管区警察局＞

※本演習は、迅速かつ適切な災害対応を図るために必要な被災状況の早期把握と情報共有を目的に四国東南海・南海地震対策連絡調整会議（事務局：国土交通省四国地方整備局）の主催により平成19年度から実施しており、今回で6回目となります。

※取材は、広域合同演習時（13時30分～16時30分）のみ可能です。カメラ撮り可。
※演習の進行状況により、取材対応をお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。

この施策は、四国広域地方計画「No6 防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。
この施策は、四国地震防災基本戦略の取り組みに該当します。

平成25年 3月11日

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局

総括防災調整官 宮本 正司（内線2119）

企画部防災課長 上林 正幸（内線3411）

TEL（087）851-8061（代表）

（087）811-8310（ダイヤル）

■DIGとは

- ・DIG (Disaster【災害】 Imagination【想像力】 Game【ゲーム】)とは、簡易型の災害図上演習の一種であり、災害のある場面を想定し、参加者全員で議論しながら課題発見や災害対応を検討するためのトレーニングです。
- ・DIGを実施することにより、各関係機関との連携に向けての課題と対策について共有化を図り、今後の防災対策に繋げていくものです。



写真 演習の様子（昨年度の演習状況）

■演習スケジュール

ステージ	時間	演習の進め方の説明
開会	13:30 13:45	演習被害想定、演習の進め方の説明
フェーズ1 (発災後～2時間)	13:45 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関管内の被災想定・初動体制の把握 ・情報伝達・共有訓練
フェーズ2 (発災後6時間～3日)		啓開オペレーションの検討 (派遣する要員・資機材の規模、派遣ルート、活動拠点等)
フェーズ3 (発災後6時間～3日)		啓開オペレーションの検討 (津波浸水区域の啓開方針、余震再発・二次災害の危険・大津波警報継続中の対応等)
演習終了	16:30	

迅速・確実な初動対応・応急対策

- 初動対応、被害状況の把握等も含めたオペレーション計画【プロジェクトE】
- 巨大災害を想定した訓練の実施【プロジェクトC】
- 関係機関における必要な物資(燃料)の確保【プロジェクトF】

被害状況の早期把握並びに関係機関における啓開・復旧オペレーション計画の策定及びその計画を迅速・確実に実施するため、より実践的な訓練を実施する。

【被災状況の早期把握と
情報共有体制の構築】

実施機関: 各防災関係機関、ライフライン事業者
(水道、電気、電話、ガス)、四国旅客
鉄道等の公共交通機関など

- ・各機関における被災状況の早期把握体制の構築
- ・収集した情報をリアルタイムで関係機関が共有する情報プラットフォーム等の構築



情報プラットフォーム等で共有

- ・緊急事態に備えた確実な通信機能の確保並びに緊急連絡体制の確立

必要な情報の共有・確実な情報伝達
緊急連絡体制の事前構築

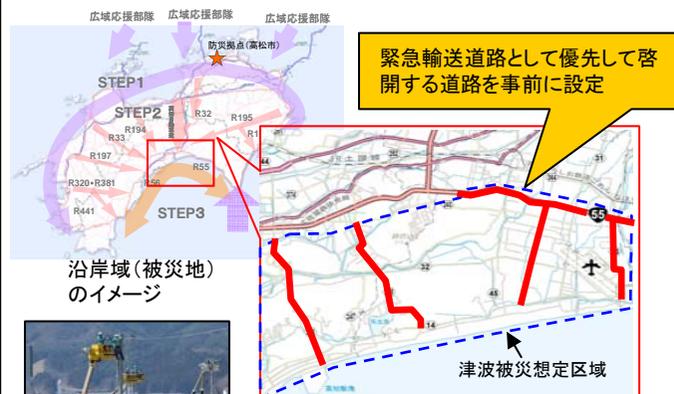
防災関係機関

防災関係機関

【各施設管理者(ライフライン含む)における啓開・
復旧オペレーション計画の策定並びに初動対応・
応急対策を確実に実施するための実践的な訓練
の実施】

実施機関: 各施設管理者(ライフライン事業者、公共交通
機関を含む)など

- ・津波被災区域等を考慮した緊急輸送ルートを事前に設定
- ・各関係機関における啓開・復旧オペレーション計画(関係業者との協定等による詳細な役割分担、指示体系の確立、資機材の調達計画、行動マニュアル等)の策定



〔ライフライン復旧状況〕 毎日新聞HPより



〔道路啓開状況〕

- ・各関係機関が策定した啓開・復旧オペレーション計画を基に、実践的な訓練を行うことにより課題を抽出し、より確実な体制を構築

【想定される課題に対する
対応策を事前に構築】

実施機関: 四国地方整備局、四国運輸局、中国四国
地方環境事務所、各県など

- ・初動対応、応急対策に必要な燃料の確実な供給体制の構築(9頁参照)
- ・災害廃棄物処理体制等の構築(体制、ヤード、分別方法等)



災害廃棄物処理

- ・津波被災想定区域における排水作業体制等の構築(体制・方法等)



排水作業

※各施策の図、写真等についてはイメージを示すための例示である。